

カリキュラム・アセスメント・チェックリスト

医学部看護学科のDP	
DP1	人の暮らしを当事者目線で理解する能力 看護の対象となる人々の一生涯の暮らしと健康や病いの体験を暮らす人々の見方や感じ方で理解し、支援に活かすことができる
DP2	倫理的能力と対話能力 人の多様性や自律性を尊重し、共感性をもって看護の対象となる人々と対話し、支援に活かすことができる
DP3	気づく能力と思考する能力 看護の対象となる人々とのかかわりのなかで人々の看護ニーズに気づき、看護の対象となる人々とその暮らしのバックグラウンドにある地域の特性や社会資源を含めて健康課題を把握し、最適な看護方法を判断できる
DP4	人の一生涯の暮らしを支える看護を実践する能力 看護の対象となる人々の地域での暮らしを常に見据え、人々の誕生から死に至るまでの健康と暮らしを連続的に捉え、その時々々の健康課題に対応した看護を実践できる
DP5	人の暮らし地域性を看護に活かす能力 看護の対象となる人々が暮らす地域の特性や様々な社会資源を活かした、保健医療福祉チームの一員としての看護のあり方を自分の言葉で説明できる
DP6	不断に看護を学び続ける能力 主体的な学びや科学的な看護の創造の面白さと大切さに気づき、変動する社会のニーズに対応できる看護職として自ら学び続け、支援に活かすことができる

No	名称	実施時期	実施頻度	対象	質問項目、内容等	手法	評価者	実施責任者	結果の活用方法
1	学生学修状況アンケート	9月/3月	毎年	1～3年生	・DPに示された資質・能力の修得の自己評価 ・学修状況	webアンケートシステム カリキュラムループブック	学生	自己点検・評価委員会	学生担当教員が面談時にアンケート結果をもとに学修支援をする
2	各科目の成績評価	9月/3月	毎年	1～3年生	・各科目・各科目群・各DPの関連科目の評定、GPA	データの集計	教員	教務委員会	学生担当教員が面談時に成績評価結果をもとに学修支援をする
3	学生授業評価アンケート	7月/1月	毎年	1～4年生	・各授業の満足度・理解度	webアンケートシステム	学生	自己点検・評価委員会	授業の改善に役立てる
4	学生聞き取り調査	2月	毎年	1～4年生	・授業全般・学生生活支援（就職支援含む）・学習環境・の満足度	学生代表へのヒアリング	学生	学生生活委員会	授業、学生生活支援、学習環境の改善に役立てる
5	統合的な科目の評価	1～3月	毎年	4年生	・暮らしの支援実習Ⅱ・卒業研究の成績評価	データの集計	教員	各科目責任者	カリキュラム評価の参考とする
		1～3月	毎年	4年生	・暮らしの支援実習Ⅱ・卒業研究の自己評価	webアンケートシステム 科目ループブック	学生		
		随時	毎年	4年生	・暮らしの支援実習Ⅱの評価	アンケート調査 科目ループブック	実習先		
6	卒業予定者アンケート	1～3月	毎年	4年生	・DPに示された資質・能力の修得の自己評価 ・進路の希望と決定状況	webアンケートシステム カリキュラムループブック	学生	自己点検・評価委員会	カリキュラム評価の参考とする
7	卒業生アンケート	5～7月	毎年	卒業1年、5年、10年の卒業生	・卒業までに修得したDPに示された資質・能力が役に立っているかの評価	webアンケートシステム (または質問紙)	卒業生	自己点検・評価委員会	カリキュラム評価の参考とする
8	就職先アンケート	5～7月	毎年	卒業1年、5年、10年の卒業生の就職先	・DPに示された資質・能力の修得の評価（卒業1年のみ） ・卒業までに修得したDPに示された資質・能力が役に立っているかの評価	webアンケートシステム (または質問紙)	就職先 (附属病院)	自己点検・評価委員会	カリキュラム評価の参考とする
9	教務データ集計	3月	毎年	各種データ	・各科目・各科目群・各DPの関連科目の評定、GPA ・学生の学位の取得年数 ・修業年限期間内に卒業する学生の割合・留年率・中途退学率 ・看護師国家試験および保健師国家試験の合格状況	データの集計	—	教務委員会	カリキュラム評価の参考とする
10	カリキュラム評価	9月	4年に1回	カリキュラム	・DPを実現できるカリキュラムになっているか ・DPは適切か（状況の変化に対応したDPとなっているか）	アンケートやデータ集計の結果をもとにしたDPとカリキュラムの総合的な点検・評価	教務委員会	教務委員会	必要に応じて、カリキュラムの改善やFDを行う